

# ひろば大代

NO.317

大代公民館

H17.12.23

## 第二十一回総会を終えて

東京石見高山会

楠 義見（前会長）

東京石見高山会では十一月十三日に第二十一回総会を行いました。

総会に先立ち、大代へ何回も足を運んで下さっている山下裕作先生をお招きし十時半から「大代町の伝承文化と地域振興」について講演されました。ここでは、過疎・高齢化問題・神楽や田植囃子の伝統芸能の由来・農業の変遷・八反田川の利用等について話されました。昔の大代を懐かしく伺う事が出来、故郷を再認識させて頂けたことを山下先生に深く感謝お礼申し上げます。

昨年は第二十回と言う節目の年に当たり、伝統ある「田植囃子」の方々に

お迎えし盛会の後、最後「盆踊り」を全員で口説きに合わせて踊りました。来年から総会の最後に「東京で踊る大代盆踊り大会」で締めくくりましょうと言う話になり、今年も歓談後、松本事務局長の口説きに合わせ、故郷で準備された草履に浴衣姿で総会を盛り上げ、初代会長の音頭で締めくくり「来年度元気で会いましょう」の言葉を交わし別れを惜しみながら帰路に着きました。



みんなで盆踊りおどりましょう

総会において役員改選があり、平成十一年に前田中憲経会長さんから会長職を承継いたしました。仕事のため、大代高山会総会に出席する事が出来ず、前会長・事務局長さん等々、大勢の方にご迷惑をおかけしました。皆様方のご協力によつて、会も挫折する事なく大代・関西・東京の高山会がお互いの交流を深め継承できたことは郷土愛の表れであり誇りと言えるでしょう。

今回、島根県並び大田市に名声高い今田潔さんに会長職を引き受けて頂くこと満場一致でご承認頂き、感謝申し上げます。

最後になりましたが、微力な私を長きにわたり支えて下さいました前会長さん・事務局長さん・幹事の皆さん・会員の方々並びに大代高山会・関西高山会の皆様に厚く御礼申し上げます。

### 就任挨拶

東京石見高山会会長 今田 潔

この度、楠会長の後を受けて東京石見高山会の会長を仰せつかった今田

潔です。人格、識見共に優れた歴代会長の後を引き継ぐには甚だ力不足の私ではありますが、会員の皆様並びに地元大代町の皆様のご協力、ご支援を頂いて高山会の維持、発展の為に汗を流す所存ですので何卒宜しくお願い致します。

故郷との交流を保ちながらこの東京石見高山会が21年も続いているという事はそれ自体本当に素晴らしい事であり、それは歴代役員の方々をはじめ会員全員の強烈な郷土愛と強い連帯感、そして地元大代町の皆様の強力なご支援によるものとの認識を新たにしている所であります。

21世紀の地方行政の方向として広域行政の必然性が叫ばれここ数年いわゆる《平成の大合併》が進んでまいりました。

故郷大田市も10月より仁摩町、温泉津町と対等合併をして新市が誕生した由を総会にご出席いただいた木村議員から報告がありました。

これからは大きな視点で諸施策を策定しなければならぬ反面、各地域ごとに今まで以上にその地域の特性を活

かした自立化が強く求められています。豊かな自然環境とその中で育まれた大代町の歴史文化、この素晴らしいふる里の資産を再認識して明るく、活力に満ちたふる里を思い出の中だけとせず、今の姿として捉えられるよう皆様と一緒に考え、実行し、作り上げていくよう努めたいと思っております。

重ねて皆様の熱いご協力とご支援をお願い致します。最後にになりましたが皆様のご健勝を心から祈念して私の挨拶とさせて頂きます。



## 「意識、認識が変われば 地域が変わる」

柿田 横手新治郎

2年ぶりに東京石見高山会総会に出席し、東京の元気を頂いて帰りました。今回の東京行きには、以下の三点を目的に出席させていただきそれぞれ成果がありました。

一点は

「総会に盆踊りをする事になったので、わざわざ30足揃えてもらえるか」との電話をもらい、簡単に引き受けたものの、他所から買って持って行ったのでは価値はないとの思いで、先輩女性の方に聞いてみると、わざわざ揃えてもらえば何とかなるでしょうとの心強い言葉をもらった。早速ぞうり売りでかなり名声を博した仁摩町のK集落で、機械をお借りしてわら打ちをし、2日で30足を作ってもらい持参した。総会では出席者に配布され、懇親会の余興として松本事務長の生の口説きで大代の盆踊りが行われた。わざわざぞうりを履いての盆踊りは始めてで

あったが、軽快に気持ち良く踊れた。二点目は、直売所で始めることにしたふるさと小包。小包を通して精神的な交流から、地域活力を向上させるための交流へと進展させて欲しい旨、お願いをした。

三点目は、以前から大代町の伝承文化などについての調査研究をしておられ、大代でも文化祭、PTA研修会で講演をされた農業工学研究所の山下研究員の講演も計画されていたので、ふるさとを離れて久しい皆さんが、どの様に感じとって頂けるのか、直に感じとりたかった。

結果として 若かりし頃やまだ中学生の頃の物不足であった時代に、一生懸命にわらぞうりを作った思い出を語り合う機会が出来たことを喜んでもらった。わらぞうりを民芸品として残すことさえ難しくなっている今、この時期を逃すと作り方さえ解らなくなってしまうそうです。

わら打ち機をお借りしたK集落にお礼に伺った日は、92歳の方を頭に、数名の方が仁摩小学校の5年生にわらぞ

うり作りを教えに行かれる日であったことも、何か奮いたたせるものがあり、これも東京高山会からお話がなければ気づかせてもらえなかつたと思うと、東京高山会の勇気ある時期はずれの盆踊りによる交流会の意義が一層高まつたように感じた。

申込みをいただいたふるさと小包は、24名の方から29セットの申込みを頂き、27日発送することができた。この結果をもとに商品についての意見や感想などを真摯に受け止め、改善を図り、定着が出来れば更なる交流の輪が広がっていくように感じている。



山下研究員の講演から、「意識、認識が変われば地域が変わる」の名文句に、皆さん感動され、ふるさと大代の大切な資産を守ることを通じて、我々が普段余り気づかない大代の良さを意識して探し、地域の活性化に対する認識が変われば、大代の現実も変わるはずであると思う。

ついでに是非行って見たいところがあつたので友達に案内してもらい「ほんばし島根館」に立ち寄った。島根県の情報発信基地として2年前に開設され、島根県で作られ農産物や海産物、工芸品などを首都圏に売りこむアンテナショップ。

当日は、私たちがいつもイベントでしている杵つきのもぎ餅の実演販売を東京のもつとも多くの人達が集まってくる所で農家の方が出かけてされていた。何か一つでも大代で作られたものが並ぶようになったら交流会の意義も一段と向上するのではないかと夢のようなことに思いをさせた。

21回の交流会は30回に向かつて一歩踏み出した意義深い総会であつた様に感じた。20日の新聞にこのことが報

じられており、何かの良いめぐり合わせを感じた。

会長も楠会長から今田会長へとバトナタッチされ、さらに充実した高山会へと発展されることをお祈りします。

## 新屋の森の魔女たちへ

本郷 日向 高弘

私は、その人たちのことを普段「ねえさん」と呼びます。

年の差が何歳で「ねえさん」から「おばさん」に変わるのか、その論議は又、別の機会にするとして、とにかく親愛の情をこめ「ねえさん」と呼ぶのであります。なかには年下の子もいますが、この際、細かいことは気にしない。とにかく、「ねえさん」なのであります。

この、「ねえさん」達が、私にとつては、公私にわたって実に頼りになる、大応援団なのです。

「ねえさん」は、普通車よりも軽トラックが似合います。

「ねえさん」は、チャンネルよりもグンゼがよく映ります。

「ねえさん」は、ハイヒールよりも長靴の方がオシャレです。

「ねえさん」は、笑顔が素敵です。怒ったらだめです。

それにしても、綱引き、強いなあ。もう、14連覇だったかなあ。

そして、すごいなあ。文化祭見ましたよ。数年前はセミヤタヌキで、今年はずかしくなりました。

恥ずかしさなんて無いんですね。恐れ入りました。

手作りの衣装も、可愛かったけど、誰かが言っていました。「衣装なんて簡単に出来るわ。だって、あいつらは魔女たちなんだけえ。」ホント、私もそう思います。



文化祭の展示

魔女でなければ、あがあに色んなことが出来るわけが無い。

魔女でなければ、あがあに変われるわけが無い。

親愛なる新屋の森の魔女のねえさん達、どうぞ、来年もよろしく。そしてお手柔らかに。

## 男の料理教室

### Ⅱ チャンチャン焼きの作り方Ⅱ

本郷 室田昇三

12月3日、料理教室に参加した。

今日作る献立は味噌風味のチャンチャン焼き、テレビで見るだけで作ったことも食べたことも無い。材料や調味料は公民館で揃えてもらった。

### Ⅱ 材料Ⅱ

- ◎ 鮭 2枚おろしにする
- ◎ 野菜（キャベツ・白菜・ジャガイモ・玉ねぎ・もやし・きのこ等）
- ◎ たれ（味噌2・日本酒1・砂糖0.5の割合で作る、みりんを少々加える）
- ◎ バター 少々

まず、最初に米を洗う人、それぞれに分かれての作業、じゃがいもの皮

むきも上手にできた。野菜を洗って切る人、わいわい言いながら、手際よくじゃがいもと白菜をゆでて盛り付け、味噌のたれも作る。

ホットプレートにバターをひき、2枚におろした鮭を切らずにそのままの大きさを身の方から少し焦げ目がつくまで焼く。

「野菜の準備より、焼くのに時間がかかるなあ」と言いながら、皆覗き込んで待つ。焼いたら裏返して骨を外し、身の部分に味噌たれをかけて、野菜を山に盛り又たれを上からかけてふたをする。

待つこと数分。野菜が煮えて鮭の身がほぐれるようになったらみんな皿に取って食べた。

「おいしいなあ！」の言葉が全員から出た。

大成功！簡単に作れておいしいこの「チャンチャン焼き」を皆さんも是非作って食べてください。

孫が来たら、絶対作って食べさせようと決めた。料理を自分で作る楽しさ、人と作る楽しさ、次の料理教室も参加します。

## 新紙幣の原料づくりを誇りに想う

一万円札の会会長 藤井 房子

○今年度みつまた黒皮品評会で、生産組合連合会長賞を受賞した。

○みつまた白皮剥ぎ機2台を購入し、収入増につながった。

○白皮を、フライリッピン国へ販売した。

○千葉県へ、手漉き葉書を販売した。

○大代町民の方が自分だけの葉書漉きと小学生が卒業証書漉きをされた。

○久利地区から新しく入会者があり、植栽を待つておられること。

○みつまた皮草履が大森世界遺産登録後土産品として販売の話題となった。

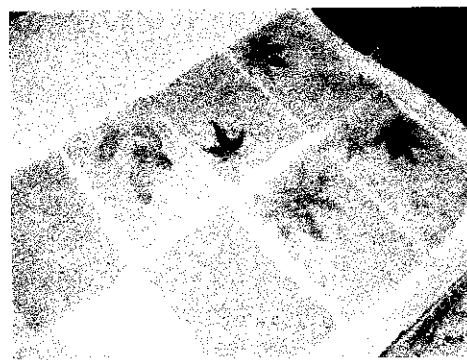
○大学教授数名と林陽一氏、黒澤明氏が工場見学に來られた。

○大学生数名が來場し、紙漉きしたり、一万円札の会を新聞に掲載される。

右のように列記できる一年間となり嬉しく思っております。

十一月末に、町民の方の紙漉き体験をしました。落ち葉を入れて葉書漉きに挑戦され世界で一枚の葉書ができ、姉妹に年賀状として出したいと美しい

笑顔で云われ、私まで感激しました。又來場をお待ちすると約束し、その折には事前に連絡下さるよう約束手もとでも感動しました。



世界でひとつの葉書

高齢化の大代町ですが、冬の作業中は、背筋が伸びて、若い人そっちのけの様相でとても賑やかな笑い声で満ち満ちています。湯気と共に寒さも吹っ飛んで幸一杯の作業場化しています。みつまたを植えてから九年目となり木のトラブルも起きてきました。経験から、肥料不足も要因の一つだと分かってきました。荒野の活性化で夢の実現には役立つていると自負しています。増殖して黄色い花の里づくりは続けたいです。



### 新成人おめでとう



来る1月4日大田市民会館において成人式が行われます。大代では次の七名の方々が大人の仲間入りです。

- おめでとうございます。(敬称略)
- 後藤順子 上市 佐藤恭瑛 下市
- 岡田 正 柿田 西本弥生 四日市
- 中垣一真 八反田 横 直人 本郷
- 武田淳志 上飯谷

### 書初め展の作品募集!

公民館で書初め展示会をいたします。題材と様式は自由でどなたでも出品でき、出品された作品には参加賞があります。ふるってご応募ください。

提出締切り1月13日(金)  
展示日 1月16日～1月末日まで

### 高山の里直売所(よっちゃん菜)

12月25日は営業、1月2月は休業  
来年は3月5日(日)から営業です。

### 高山そば道場

来年は1月8日(日)から営業です。

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

▼1日(日) 新年挨拶交歓会

大代公民館於午前9時より

会費 二百円(当日)

▼4日(水) 大田市成人式

▼8日(日) 消防出初式

▼11日(水) あすなる俳句会

▼15日(日) 福祉弁当

▼22日(日) 農業委員選挙

▼23日(月) 連合自治会

### || お知らせ ||

◎大代地区社会福祉協議会からお礼

大代婦人会様よりご寄付を

四日市 渡辺寿雄様より

香典返しにかえ、金一封の御厚志を頂き、厚くお礼申し上げます。

◎大代公民館からお礼

大代婦人会様からご寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

### || 編集後記 ||

師走に入って今年もあと僅かになりました。近來めつたにない大雪が降り今年には自然災害が多く、大きな地震や台風の被害も多かった年でした。

大雪の年には「かめ虫」の発生が多いと昔から言われておりますが、今年の秋にはどこにいつても多いと言われる12月に入っの思わぬ積雪に「やっばり?」の思いを強くしました。

また、子供を巻き込んだ事件も多く、痛ましい事件の連続に心が痛んだ一年でした。それぞれの地域で子供たちの成長を温かく見守って、来年は事件の少ない良い年にしたいものです。

皆様、健康に注意されまして、よいお正月をお迎えください。(K)

